

本愛

発行
天理教本愛大教会
〒 453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒 632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広 報 部

陽気ぐらしの台へ一丸

婦人会総会本愛支部第93回総会

婦人会本愛支部では、5月20日に第93回総会を開催した。当日は約340人が大教会に参集。おとめに続いて総会式典が行われ、安藤ちかい支部長は、「教祖140年祭に向かって全教の心を一つにする上でも、まず婦人会員の私たちが心を揃えて歩ませていただきたい」と述べた。



式典では婦人会本部祝辞の後、大教会長が挨拶した

婦人会本愛支部では、天理教婦人会の成人目標「ひながたをたどり陽気ぐらしの台となりましょう」と、活動方針である「教祖140年祭に向かって育つ努力、育てる丹精に徹しよう」に沿って、活動を推し進めている。

年祭活動の旬にあたって、会活動の充実に努める

年間活動目標
今日を陽気に。
つながら、
つなげる。

中、今年の総会には、女子青年など若年層を含む約340人の参加があった。

当日は、午前10時からおとめまなびが陽気につとめられた。その後の総会式典では、婦人会本部の祝辞と大教会長の挨拶に続き、安藤ちかい支部長が挨拶に立った（大教会長挨拶の詳細は、左記QRコードから動画をご覧ください）。

その中で、安藤支部長は、教祖140年祭への歩みについて触れ、「全教の心を一つ



4年ぶりのバザーには大勢の人が訪れた

にすることは難しいことではあるけれども、まずここに集まった本愛につながる婦人会員の私たちが心を揃えて一手一つに歩む中で、全教的にもにぎやかになっていくのではないかと話した。

この後、昼食を挟んでコロナ禍によって中止していたバザーが4年ぶりに開催され、にぎわいを見せた。

YouTube

婦人会本愛支部
第93回総会
における
大教会長挨拶

動画で
ご覧いただけます。

※上記のQRコードを読み取って、ご覧ください。本愛誌の読者限定で公開している動画ですのでチャンネル内の動画一覧からはご覧いただけません。

入社祭	1日	午前10時
よふき会例会	2日	午前10時
月次祭	13日	午前10時
青年会例会	13日	午前10時
布教実修所	14日	午前10時
むつみ会例会	16日	午前10時
こども食堂MOGU	17日	午後5時
女子青年例会	18日	午前10時
ほんあいOKEIKO	18日	午前10時
婦人会例会	20日	午前10時
修養科志願者面接 (於・本愛詰所)	25日	午後1時
本部月次祭	26日	午前9時

6月のこよみ

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人

満足させてやる事が出来ぬから表にいて、早よう迎えてやりた

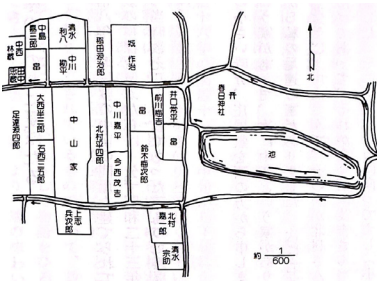
前回に引き続き、教祖御在世当時の建物が残る、本部記念建物のお話からしてみたいと思います。

明治16年に「御休息所」が建てられ、そこがお居間となるまで、教祖は約8年にわたって「中南の門屋」の西側10畳の間をお居間とされ、そこで寄り来る人々に親神様の思召を伝えられました。一番長い時間を過ごされた場所とも言っています。

甘露水を舂めた子供たち

そうしたご在世当時の教祖のお言葉やご様子は、現在もさまざまな書物に、先生の先生方が書き残しておられます。その中に「甘露水」についての記述がありました。

当時からゆっくりお休みになれる場所をつくっては、という話があったようですが、教祖は「奥にいては、帰って来る子ども達に直ぐ会えぬ。また、遠慮して寄って来ないやろう。それでは、



明治10年頃のお屋敷周辺(前掲書より引用)

教祖は仲田儀三郎や辻忠作といった先生方に「いついつかのなんどきになったら甘露水が降るで」とおっしゃったそうです。上村福太郎氏は、自身がまだ子供だった頃の話として、このような逸話を書き残しています。

（教祖がそのようにおっしゃった日は）大抵どんよりとした日なのです。甘露水は（中略）畳半枚ほどのところに、さらさらさらと音をたてて降り

ました。ほんのちよつとの間で。甘露水はベトベトした甘いもので、日があたるとキラキラ光ったもので

す。横の樅の木にも別のかんちく竹にも降って、

お屋敷に帰ってしまったあつたあと、それらの樅やかんちく竹にキラキラ残っておりまして。私たちはみんなでなめました。そ

れは甘い何とも言えないおいしいものでした。私たち子供は、

「こんなの、えろ（沢山）降ったら、砂糖のかわりになるのになあ」と言い合いました。今から考えても本当に不思議なことですが、その時分

疑うものばかりの中で、親神様はどんなことでもなさるということをお見せになったものだと思います。（『教祖のお姿を偲ぶ』より）

この話は、当時近隣では有名な話だったようで、他の書物にも残っています。今の私たちが考える甘露水とは、随分と異なる感じがしますね。

教祖はご自身のお姿やこうした不思議な出来事を通して、親神様のご守護を人々にわからせようとなされたでしょう。その親心を身近に感じることが、何より大事だと思ふのです。

公式サイトと YouTube をご活用ください！

天理教 本愛 🔍 検索

こんなに便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく学ぶ



- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想

言わん言えんの理を探る



新型コロナウイルスの感染症上の扱いが先月から五類に引き下げられ、社会生活を送る上での制約はほとんどなくなりまし。しかしウイルスが消滅した訳ではないので、マスクや手洗いなどの感染防止対策は、状況を見ながら継続していく努力が求められています。

新型コロナウイルスに限らず、体内に異物が侵入すると、人間の体には自動的に熱が上がる機能が備わっています。これは体温が上昇することで異物が死滅しやすくなるという実に不思議

議で有難い働きですから、感染に気をつけることも大切ですが、この不思議な身体機能にもっと感謝の気持ちを持つことが重要ではないでしょうか。

体温調節や火、熱など温みの守護をくださっているのは、親神様の十全の守護のうちのをもたりのみことです。その守護の理は、

一方、をもたりのみことは、世界では火の守護と教えられていますが、人間生活における火の重要性は今更いうまでもありません。

一定に保つには、たとえば暑い時に汗をかいて熱を逃がしたり、寒い時にはトリ肌が立ったり震えたりするという絶妙なコントロールが必要になります。ですから温みのご守護に関わる身体

血管などの循環器系、養分を吸収する消化器系、そして酸素を運び炭酸ガスを運び出す呼吸器系が連動した結果といえるでしょう。

もう一つ大切なことは、火と水の調和です。身近な例ではお風呂。熱すぎたら火傷をするし、ぬるすぎたら風邪をひいてしまう。また身体では、汗をかいて体温を調節する機能こそ、火と水の調和の最も分かりやすい姿です。

の病気や火と熱による災難は、をもたりのみことのご守護を十分にいただけない姿であり、その原因はバランスが崩れた心使いにあるといえるのではないのでしょうか。

火と水の調和は人間に快適で便利な生活をもたらします。けれども一旦バランスが崩れると、大きな身土や災害にもつながりかねません。そう考えると、熱性

【第 102 回】

火と水の働きに感謝し 暖かい心と調和を忘れず

火と水の調和は人間に快適で便利な生活をもたらします。けれども一旦バランスが崩れると、大きな身土や災害にもつながりかねません。そう考えると、熱性の

火と水の調和に感謝する気持ちを忘れず、両者のバランスが崩れないように心を保ちつつ、報恩を実践する信仰の心が肝要です。それを積み重ねる中に、火や熱の災いから守られる姿が現れます。常にひながたを目標に、暖かい心と調和を目指して年祭へ向かう日々を歩んでいきましよう。

**本愛大教会
創立110周年記念祭**

立教187年 6月23日(日)
2024年

6月14日
本愛布教実修所の予定
おつとめ、布教実動
教理講座
講師 渡邊幸亮・本築地
分教会長
「喜びの道」

4月のおさづけの理拝戴者
神谷和幸(本豊國)

4月の初席者
吉田弘貴(本喜愛)

おちばで学び、伏せ込み、信仰の喜びを実感しよう！

第985期 修養科生大募集

《集合・面接》 ☆日時…6月25日 午後1時 ☆場所…本愛詰所

※6月20日までに神殿事務所へお申し込みください。

大 教 会 日 誌		令和5年4月25日～令和5年5月24日
4月		
26日 本部月次祭	13日 月次祭	
30日 常任役員会議◇役員会議	祭 主・大教会長 扨者・筑紫英一、吉田克義	
5月		
1日 入社祭	指図方・安藤正二郎 賛者・津田豊郎、杉下和平	
祭 主・大教会長 扨者・山神茂彦、細川明	◇学生層育成者講習会—勝村宏樹先生	(東濃大教会長・本部学生担当委員会副委員長)
指図方・野田正道 賛者・坂倉敏男、山本治行	◇大教会長挨拶	
◇祭典講話—伊藤寿輝	青年会例会	
◇大教会長挨拶	14日 布教実修所	
2日 よふき会例会	16日 むつみ会例会	
おつとめ、十二下りてをどり、連絡会	17日 こども食堂MOGU (参加者70人)	
7日 女子青年例会	20日 天理教婦人会本愛支部第93回総会	
12日 常任役員会議	21日 ほんあいOKEIKO (参加者14人)	